

海外で事業を運営する中小企業にとって、テロや犯罪のリスクは、早急の対策を必要とするリスクです。テロや犯罪に遭わないための対策と、万が一巻き込まれてしまった場合の対策を講じる必要があります。

テロや犯罪のリスクは、国・地域にもよりますが、日本より海外の方が高いと言えます。海外では日常的にテロのみならず強盗や誘拐、殺人などの重大犯罪が発生しています。従業員の安全を確保することは企

中小企業 海外展開のツボ

業の責務です。可能な限りの安全対策を講じるとともに、その重要性を従業員に理解させ、日々実践させることが必要です。

まず、進出先のリスクを把握し、評価することから始めましょう。国・地域の歴史を学び、テロや犯罪の背景を知ることによって、進出先にどのくらいのリスクがあるのかが分かり、対策を立てやすくなります。

犯罪対策、常に情報収集

SOMPO リスクアマネジメント 横山 歩氏
ERM事業部 上席コンサルタント

次に、正確かつ最新の情報を入手しましょう。できれば毎日、情報を収集する習慣をつけましょう。日本や進出先の政府機関のみならず、欧米の政府機関や大使館、民間のコンサルティング会社、メディアなどが発信する情報を収集し、整理することで、現地情勢が見えてくるようになります。

そして従業員に対し基本的な安全

対策と現地固有のリスクを知ってもらうための研修を実施しましょう。赴任前はもちろん、現地でも定期的な注意喚起を行うことが重要です。

さらに、従業員が万が一テロや犯罪に巻き込まれたことを想定したマニュアルを作成しましょう。誰が、いつ、どこに連絡するのか、あらかじめ決めておくことで、いざというときに役立ちます。

〈テロ・犯罪への対応のポイント〉

- ① **リスクを把握し、評価する**
進出先の歴史や政治に関する知識を深め、テロや犯罪のリスクがどのくらいあるかを知る
- ② **正確かつ最新の情報を入手する**
政府機関や大使館、民間のコンサルティング会社、メディアなどの情報を日々収集し、現地情勢を把握する
- ③ **教育・研修を行う**
基本的な安全対策とともに、現地固有のリスクについて知ってもらう教育・研修を定期的に行う
- ④ **対応マニュアルを作成する**
従業員がテロや犯罪に巻き込まれた場合を想定し、関係機関への連絡方法などをまとめたマニュアルを作成する

2017年4月14日
日経産業新聞